

自然科学研究機構基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会（平成 21 年度第 1 回）議事要旨

日 時：平成 21 年 10 月 19 日（月） 14：30～17：00

場 所：岡崎統合事務センター 3 階 第一会議室

出席者：山下（北海道大学）、酒泉（新潟大学）、山崎（国立遺伝学研究所）、三谷（東京大学）、谷口（京都大学）、堀（名古屋大学）、近藤（大阪大学）、成瀬（基生研）、高田（基生研）、上野（基生研）、長濱（基生研）

オブザーバー：井上（東京大学海洋研究所）、木下（京都大学）、田中（基生研）

議事に先立ち、山下運営委員会委員長の挨拶があった。

（報告事項）

- 1 平成 21 年度活動報告（中間報告）について
成瀬副委員長から、基礎生物学研究所（中核機関）における平成 21 年度の活動内容について報告があった。
引き続き、酒泉教授から新潟大学（サブ機関）における平成 21 年度の活動内容について報告があった。
- 2 関連プログラムの進捗状況について
 - （1）メダカ完全長 cDNA リソースの整備
成瀬副委員長から、進捗状況について報告があった。
 - （2）メダカ遺伝子機能解析汎用系統の開発
田中准教授から、進捗状況について報告があった。
- 3 実費徴収に関する状況について
成瀬副委員長から、文部科学省主催のナショナルバイオリソースプロジェクトにおける実費徴収および知的財産の保護のあり方の説明会に出席した旨の報告があった後、メダカバイオリソースにおける実費徴収の現状について報告があった。
（現状は次のとおり）
 - ・国内の発送については、送料のみ利用者負担としており、料金着払いの宅配便を利用している。また、梱包には研究室で不要となった空容器等を再利用しており、費用が発生していない。
 - ・国外の発送については、件数も少なく、メダカバイオリソース普及の観点から運営費交付金によって基礎生物学研究所が負担を行っている。
- 4 海外へのメダカ輸送について
成瀬副委員長から、「ショウジョウバエ」バイオリソースは郵政公社の国際郵便約款で「生物学上の材料」として規定されており、外国への発送が許可されている旨説明があ

り、メダカリソースも同様の取扱いとしてもらうように郵政公社へ働きかけを行う必要があるのではないかとの提案があり、運営委員会としても本件について、引き続き検討することとした。

5 health certification について

成瀬副委員長から、海外にメダカリソースを発送する場合に、相手側からメダカリソースに関し、「health certification」の提出を要求されることがある旨説明があった後、ゼブラフィッシュプロジェクトで使用している「Declaration of Health」等を事例として報告があり、運営委員会として、引き続き検討することとした。

6 トラップの提示について

成瀬副委員長から、リソースの外部流出を防ぐためのトラップをホームページで例示して欲しいとの要望があった旨説明があり、意見交換の後、ガイドラインを示すことは必要であるため、リソースの利用者に求める最低限度の例示を行うこととした。

(審議事項)

1 運営委員会委員について

山下運営委員会委員長から、堀教授が平成 21 年 4 月から名古屋大学名誉教授となったため、運営委員を退任すべきかどうか審議願いたいとの説明があった後、成瀬副委員長から委員の任期について補足説明があり、審議の結果、堀教授の任期中（平成 22 年 3 月末日まで）の退任は行わないこととした。

2 Tilling 凍結精子の寄託について

谷口准教授から、自身の他大学への転出に伴い、京都大学において管理していた Tilling 用メダカ凍結精子とゲノム DNA をナショナルバイオリソースへ寄託したい旨提案があり、審議の結果、これを承認した。

なお、発送費用や発送方法に関しては別途、成瀬副委員長と調整することとした。

以 上